

ドル円、一時 132 円台半ばまで下落

GLOBAL MARKETS RESEARCH

リサーチアシスタント 齋藤 賢斗
田上 香一

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和 4(2022)年 8 月 16 日

前営業日の市況

本邦 4-6 期 GDP は事前予想を下回る内容となったが、相場の反応は限定的にとどまった。ドル円は 133.33 で寄り付くと、133 円台前半を中心とした推移が続いた。中国人民銀行が予想外に中期貸出ファシリティー (MLF) の金利を引き下げると、対人民元でドル買いが進行する場面がみられた。海外勢参入後には米長期金利が上昇するなか、ドル円は一時高値 133.53 まで上昇した。だが、金利の低下に原油価格の下落が加わり 133 円を割り込むと、安値 132.56 まで下げ幅を広げた。8 月のニューヨーク連銀景況指数が大幅に悪化も、米金利のさらなる低下が限定的にとどまり、米株が上昇するなかで金利も上昇に転じた。ドル円は 133.32 まで値を戻して引けている。(田上)

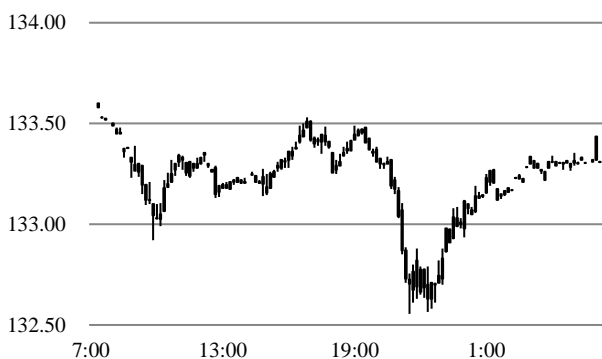
本日のポイント

昨日発表された経済指標が事前予想を下回ったことで、米中の景気減速が改めて意識された。だが、米金利の低下は限定的にとどまり、株価も小幅に上昇した一方、為替市場では主要通貨に対して円、ドル、スイスフランの順で強く、リスクオフの反応となった。本日は 7 月の米住宅着工件数に注目。事前予想通り、下振れが確認されれば、ドルも円も買われやすい地合いが続きやすく、クロス円の下落主導でドル円は上値を抑えられよう。(齋藤)

本日のディーラー予想

ドル円	ユーロドル	ユーロ円
132.50~133.70	1.0120~1.0220	134.50~136.00

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

市況データ

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/JPY	133.33	133.53	132.56	133.32
EUR/USD	1.0255	1.0269	1.0155	1.0159
EUR/JPY	136.77	136.77	135.30	135.45
GBP/USD	1.2135	1.2149	1.2051	1.2052

	終値	(前日比)
日経平均	28,871.78	+ 324.80
ユーロストック 50	3,789.62	+ 12.81
FTSE100	7,509.15	+ 8.26
ダウ工業	33,912.44	+ 151.39
ナスダック	13,128.05	+ 80.86
上海総合指数	3,276.09	- 0.80
CRB 商品指数	289.54	- 3.94
WTI 原油先物	89.41	- 2.68
金先物	1,798.10	- 17.40
VIX 指数	19.95	+ 0.42

	2年	(前日比)	10年	(前日比)
日本国債	-0.083 %	0.000 %	0.190 %	0.000 %
独国債	0.530 %	-0.078 %	0.900 %	-0.087 %
米国債	3.185 %	-0.062 %	2.789 %	-0.045 %
英国債	2.032 %	-0.021 %	2.017 %	-0.094 %

	終値	(前日比)
無担保コール O/N	-0.007 %	+ 0.001 %
ユーロ円金利先物	100.005 p	+ 0.000 p
TONA 複利(後決め)6ヵ月	-0.01643 %	+ 0.00002 %
円-TIBOR6ヵ月	0.13636 %	+ 0.00000 %
米国 FF Rate	2.33 %	+ 0.00 %
米国 TB3ヵ月	2.5371 %	+ 0.0203 %
USD-LIBOR6ヵ月	3.53300 %	+ 0.02371 %
EURIBOR6ヵ月	0.74500 %	- 0.02100 %
SONIA 複利(後決め)6ヵ月	0.90560 %	+ 0.00250 %

※「米国 FF Rate」のみ as of 8月12日、「TONA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 2022年2月15日、「SONIA 複利(後決め)6ヵ月」は as of 同年2月17日

(出所)為替のデータは弊行4本値、その他のデータは Bloomberg

※OPENは日本時間午前9時、CLOSEは日本時間翌日午前7時。
(米国夏時間は日本時間翌日午前6時)

前営業日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	結果
8:50	日	実質 GDP(前期比年率、Q2 速報)	2.6%	2.2%
11:00	中	鉱工業生産(前年比、7月)	4.3%	3.8%
11:00	中	小売売上高(前年比、7月)	4.9%	2.7%
11:00	中	都市部固定資産投資(前年比、7月)	6.2%	5.7%
21:30	米	ニューヨーク連銀景況指数(8月)	5.0	▲31.3
23:00	米	NAHB 住宅市場指数(8月)	54	49
5:00	米	証券投資収支(6月・億ドル)	---	221

本日の主な経済指標等

時刻	地域	経済指標	予想	前回
18:00	独	ZEW 景況感調査(現況指数、8月)	▲49.0	▲45.8
18:00	独	ZEW 景況感調査(期待指数、8月)	▲52.7	▲53.8
18:00	ユ	貿易収支(季調済、6月・億ユーロ)	▲220	▲260
21:30	米	住宅着工件数(7月・万件)	152.8	155.9
21:30	米	建設許可件数(7月・万件)	164.0	169.6
22:15	米	鉱工業生産(前月比、7月)	0.3%	▲0.2%
22:15	米	設備稼働率(7月)	80.2%	80.0%

時刻	地域	イベント

時刻	地域	イベント
12:35	日	5年物国債入札
18:30	独	5年物国債入札

※時刻は東京時間、市場予想は Bloomberg 調査中央値

照会先：三菱 UFJ 銀行 グローバルマーケットリサーチ シニアアナリスト 亀井 純野

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。

当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。

当行は、当資料において言及されている会社と関係性を有し、又はかかる会社に対して金融サービスを提供している可能性があります。当行のグループ会社は、当資料において言及されている証券又はこれに関連する証券について権利を有し、又はこれらの証券の引受けを行っている可能性があります。また、これらの証券又はそのポジションを保有している可能性があります。

当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。

(株式会社三菱 UFJ 銀行 ロンドン支店 のみに適用される情報開示)

株式会社三菱 UFJ 銀行 (以下「MUFG Bank」) は、日本で設立され、東京法務局 (会社法人等番号 0100-01-008846) において登記された有限責任の株式会社です。

MUFG Bank の本店は、東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 (郵便番号 100-8388) に所在しています。

MUFG Bank ロンドン支店は、英国会社登録所において、英国支店として登録されています (登録番号 BR002013)。

MUFG Bank は、日本の金融庁によって認可及び規制されています。MUFG Bank ロンドン支店は、英国ブルーデンス規制機構より認可を受けており (FCA/PRA 番号 139189)、英国金融行為監督機構の規制とブルーデンス規制機構の限定された規制の対象となっています。英国ブルーデンス規制機構による MUFG Bank ロンドン支店の規制の範囲の詳細は、ご請求いただいた方にお渡ししております。